

表紙および中表紙の体裁に関する注意

指導の形態により、主任指導教員と指導教員の両方を記載する場合と、主任指導教員のみを記載する場合があります。不明な場合には、直接指導を受けた先生に問い合わせてください。

表紙および中表紙（1枚目）に関する注意

注意1：英語で執筆した場合にも、表紙の体裁は以下（2ページ目、もしくは3ページ目）のようにしてください。なお、可能な限り、題目以外を日本語で記載してください。

注意2：英語で執筆した場合にも、中表紙（1枚目）として添付してください。
なお、可能な限り、題目以外を日本語で記載してください。

PDF版作成時の注意

PDFには、中表紙（1枚目および2枚目）と本文すべてを含めてください。

2020年2月1日作成

令和1年度

修士論文

題 目

インフラ点検用クアッドロータのための
UWB通信及びオプティカルフローセンサを
用いた位置制御に関する研究

申請者 中村 翔太 (18623117)

主任指導教員 澤田 祐一 教授

指導教員 東 善之 助教

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科

機械設計学専攻

(表紙および中表紙(1枚目)の体裁2)

平成〇〇年度

修士論文

題 目

複雑な機械の構造と強度に

関する研究

申請者 機械 太郎 (00000000)

主任指導教員 熱流 一郎 教授

京都工芸纖維大学 大学院工芸科学研究科

機械設計学専攻

Study on position control for quad rotor aiming for infrastructure inspection using UWB communication and optical flow sensor

by

Shota Nakamura

A thesis submitted
to
Division of Mechanodesign,
Graduate School of Science and Technology
in partial fulfillment of the requirements
for the degree
of
Master of Engineering

Chief Advisor: Professor Yuichi SAWADA
Advisor: Assistant Professor Yoshiyuki HIGASHI

Kyoto Institute of Technology
Sakyo, Kyoto

February 10, 2020

(中表紙（2枚目）の体裁2)

(日本語で執筆した場合にも、中表紙（2枚目）として添付してください。)

Study of Structure and Strength of Complex Machines←Titleを記入

by

Taro KIKAI←名前を記入

A thesis submitted
to
Division of Mechanodesign,
Graduate School of Science and Technology
in partial fulfillment of the requirements
for the degree
of
Master of Engineering

Chief Advisor: Professor Ichiro SEIGYO←主任指導教員

Kyoto Institute of Technology
Sakyo, Kyoto

February **, 20**

↑各年度の修士学位論文内容要旨提出期限に日付を合わせて下さい

インフラ点検用クアッドロータのための

UWB通信及びオプティカルフローセンサを令和

1年度

用いた位置制御に関する研究

中
村
翔
太

Abstract

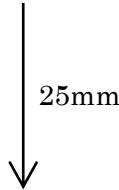
～How to prepare for your graduation or master's thesis using Microsoft Word for Windows～
(実際には改ページ)

概要

～Microsoft Word for Windows 用修士論文テンプレート～
使用言語が英語の場合には、和文の概要は必要ありません。
(実際には改ページ)

目次

1. 緒言	1
1.1 研究の背景	1
1.1.1 ○○○	1
1.1.2 ○○○	2
1.2 研究の目的	3
2. ○○○	4
2.1 ○○○	4
謝辞	10
参考文献	10
付録	12



1. 緒言

この資料は、原稿作成の方法を示し、執筆要綱を補足するものです。
(実際には改ページ)

2. 執筆要綱の補足

2.1 ページ設定・書式

2.1.1 余白 上 25mm, 下 20mm, 左 30mm, 右 10mm とする。

2.1.2 ページ番号 本文の下余白に、ページ番号を挿入する。

2.1.3 フォント 概要、目次、章、節、項、謝辞、付録、参考文献等のタイトルにはゴシック体 (sanserif typeface) を用いる。本文には 11 ポイント程度の明朝体 (serif typeface) を使用する。

2.1.4 行間隔 和文・英文ともに 18 ポイント程度 (1 ページ約 40 行) とする。

2.2 式

30mm → 式は中央揃えにし、式番号は右揃えにする。例えば、以下のように記述する。 ← 10mm

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad (1)$$

2.3 表と図

表と図の例を以下に示す。図表内の文字が小さくなりすぎないように注意すること。

Table 1 Computational parameters.

S	...
Ω	...
...	...

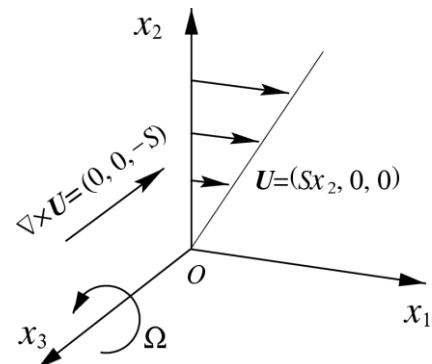


Fig. 1 Rotating shear flow.

2.4 参考文献

以下のように記入し、'日本らの研究⁽¹⁾によると…' のように参照する。
(実際には改ページ)

参考文献

- (1) 日本太郎, 赤坂次郎, 粘弹性流のレオロジ方程式に関する研究, 日本機械学会論文集, 70-578, (1967), 359-363.